

株式会社セゾンテクノロジー

第55期定時株主総会

報告事項

1. 第55期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第55期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 取締役8名選任の件
- 第3号議案 監査役の補欠者1名選任の件

当グループの現況

スタンダード市場上場維持基準適合

2024年3月31日時点において、スタンダード市場の上場維持基準に適合したことを確認いたしました。

安定的に上場維持基準を充足するのみならず、中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

HULFT事業

国内データ連携ソフトウェアのスタンダードである当社の主力製品「HULFT」、「DataSpider Servista」及び関連製品群の販売・サポートサービスを提供

データプラットフォーム事業

当社の強みである「HULFT」「DataSpider Servista」「HULFT Square」を活用し、企業内・企業間のシステムやデータとSaaSをつなぐことで、業務効率化、経営情報可視化による意思決定支援及び経営刷新に繋げる各種サービスを提供

流通ITサービス事業

流通小売業のシステム開発から運用を担ってきた実績と先端技術を駆使し、流通小売業・航空業向けシステム開発・運用等を提供

フィナンシャルITサービス事業

クレジットカード会社のシステム開発から運用を担ってきた実績と先端技術を駆使し、金融業向けシステム開発・運用等を提供

Mission

世界中のデータをつなぎ、
誰もがデータを活用できる社会を作る
Connect the world's data
and make it useful for everyone

Our Values

Customer Centric 現場に立ちお客様のためを考え抜く
Proactive 自ら考え自ら行動する
Respect 互いを尊重し会話をする

サステナビリティ方針

私たちは、ミッション「世界中のデータをつなぎ、
誰もがデータを活用できる社会を作る」のもと
地球規模の視点で未来を共創し、
持続可能な社会の発展に取り組みます。

マテリアリティ（重要課題）

人

データ連携

ガバナンス

環境

戦略

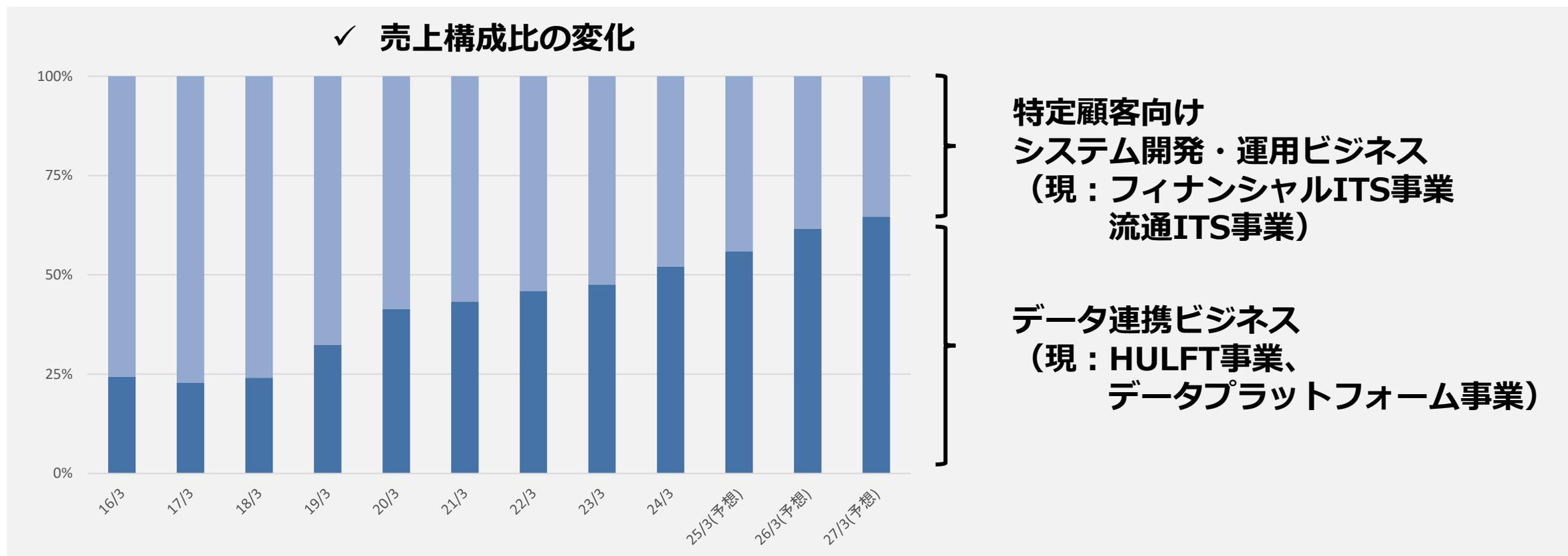
事業シフト

技術シフト

組織シフト

人材シフト

- 足元（2024年3月期末）のデータ連携ビジネス比率は52%まで成長
- 2025年3月期も全社を挙げたデータ連携ビジネス拡大を継続



- iPaaS「HULFT Square」、
2023年から国内・欧米・ASEANで順次提供開始

HULFT SQUARE

2023年

2月9日(木)

データをつなぐ日

◆ 国内向け提供開始

2023年

10月5日(木)

National Do Something Nice Day

◆ 欧米向け提供開始

- 「HULFT」、10年ぶりのメジャーバージョンアップ
- コンテナ版「HULFT 10」をリリース

HULFT10



2024年

2月9日(金)

データをつなぐ日

コンテナ版を

AWS Marketplaceにてリリース

昨今の事業環境に適応した製品特徴

必要な時にすぐに
利用可能

リソース・
コスト最適化

外部サービスと
シームレスに連携

セキュアな通信

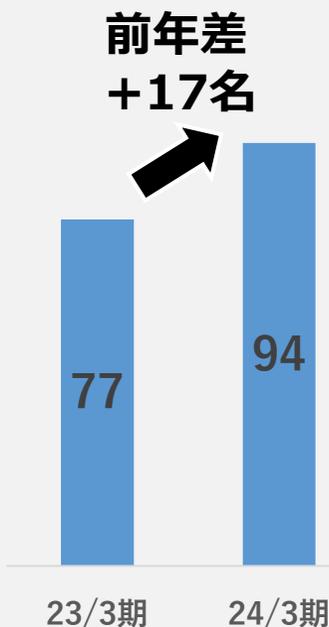
今後はオンプレミス環境で
利用可能な機能も提供予定

●エンジニア中心に新規採用拡大と人材教育強化

従業員数：757名

※従業員数は就業人員であり、臨時従業員を含んでおりません。

✓ 採用



✓ 24/3期採用人数 94名

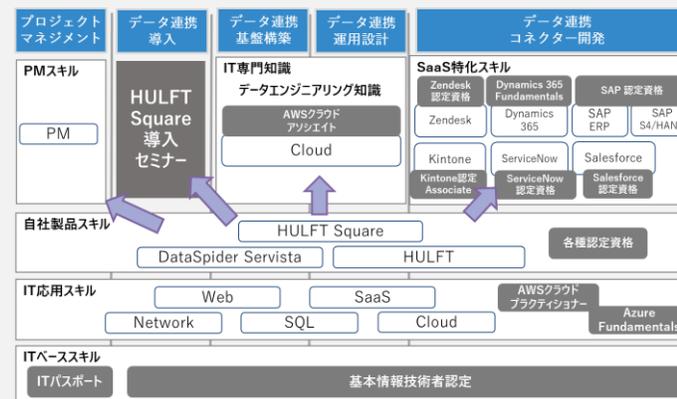
- ・ 経験者 72名
- ・ 新卒 22名

✓ 地方採用x
遠隔地勤務 15名

✓ 未経験者
採用・育成 8名
(上記採用人数の内数)

↓
人材基盤の強化

✓ 教育x組織の融合



- ・ キャリアやスキルに応じたコース設定
- ・ e-ラーニング受講
1人当：85.5H/年
(受講者29名の平均視聴時間)

↓
**技術スキル向上、
エンジニア組織
の融合※**

※2025年3月期より、
DI本部のエンジニア組織を融合

連結（単位：百万円）	2024年3月期 通期			前年同期比較	
	実績	修正予想 2023/10/31	当初予想 2023/5/11	実績	増減率
売上高	23,864	24,000	24,000	23,952	▲0.4%
営業利益	1,024	1,100	1,900	2,183	▲53.1%
経常利益	1,072	1,100	1,900	2,223	▲51.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	603	570	1,300	1,440	▲58.1%

概況

- 売上高は、特定顧客向けシステム開発・運用ビジネス（流通ITサービス事業・フィナンシャルITサービス事業）が想定通り縮小したこと等により減収した一方、データ連携ビジネス（HULFT事業・データプラットフォーム事業）が想定通り拡大
- 営業利益及び経常利益は、流通ITサービス事業において、受注損失引当金繰入額1,805百万円を売上原価に計上したこと等により減益
- 営業利益及び経常利益の減益に加えて、データプラットフォーム事業の減損損失等により、親会社株主に帰属する当期純利益は減益

セグメント別売上高・営業利益

(2024年3月期通期)

連結（単位：百万円）	売上高		営業利益	
	実績	前年同期差	実績	前年同期差
HULFT事業	9,951	+636	4,223	+610
データプラットフォーム事業	2,481	+366	▲2,064	▲1,373※1
流通ITサービス事業	2,812	▲273	▲1,852	▲1,881
フィナンシャルITサービス事業	8,618	▲863	717	▲84
その他調整額	-	+45※2	-	+1,569※1
合計	23,864	▲88	1,024	▲1,159

※1. セグメントに配分していない全社費用等

（前期までは「HULFT Square」に関するコストを新サービスの研究開発として全社費用に計上していましたが、2023年2月にリリースしたことに伴い、当期よりデータプラットフォーム事業の原価に計上しております）

※2. セグメント間取引等

連結貸借対照表

連結（単位：百万円）		2024年3月期 通期	2023年3月期との比較		
			実績	増減額	増減率
流動資産		18,059	17,439	+ 620	+ 3.6%
固定資産		4,636	3,860	+ 776	+ 20.1%
	資産合計	22,696	21,299	+ 1,397	+ 6.6%
流動負債		8,063	6,219	+ 1,844	+ 29.7%
固定負債		412	336	+ 75	+ 22.4%
	負債合計	8,476	6,556	+ 1,919	+ 29.3%
	純資産合計	14,220	14,742	▲ 522	▲ 3.5%
	負債・純資産合計	22,696	21,299	+ 1,397	+ 6.6%
	自己資本比率	62.7%	69.2%	▲ 6.5P	

主な 増減要因

- 流動資産は、現金及び預金の増加等により増加
- 固定資産は、繰延税金資産の増加等により増加
- 流動負債は、受注損失引当金の計上等により増加
- 純資産は、当期純利益を計上した一方、配当財源への割当て等により減少

当社における資本コストは、CAPMに基づいて計算した株主資本コストはもとより、同業他社のROE水準をベンチマークと意識

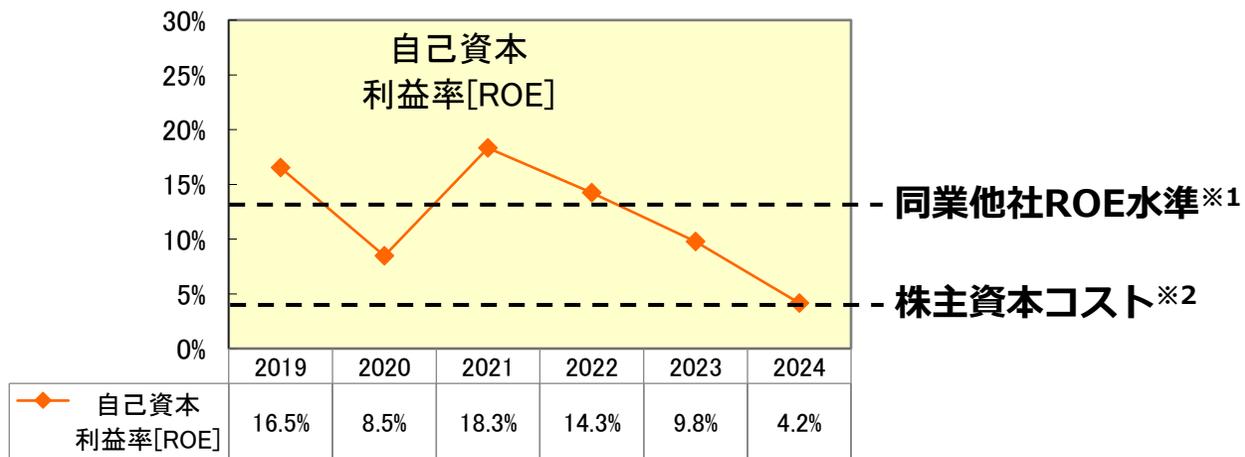
当社は良質なサービスを提供する高収益IT企業として、中長期的にはROE20%の恒常的な計上を目指す。この経営目標達成に向けて、重視する経営指標・目標値を設定

ただし、現在は事業構造の変革期であり、自社製品サービス開発・人的資本等への費用投下により、短期的には利益を押し下げていることから、直近5年間のROEは10%前後を推移

最適資本構成に基づいたバランスシートマネジメントと短期的な利益変動に左右されにくい安定配当を実現するため、配当方針にDOE基準を採用

重視する
経営指標・
目標値

- ROE 20%
- TSR (株主総利回り)
※目標は同業他社平均
- DOE 10%
- 自己資本比率 50%-75%



※1. 2021年度情報通信業基本調査（経済産業省）より、ソフトウェア業と情報処理・提供サービス業の平均ROE（当期純利益/純資産）
※2. CAPMに基づいて計算

経営指標・目標値

2024年3月期

ROE20%
(自己資本利益率)



4.2%

TSR
(株主総利回り)

※2019年3月期末を基準(100%)として評価
※目標値は同業他社平均値



169.1%

DOE10%
(自己資本配当率)



10.1%

自己資本比率50-75%



62.7%

2024年4月1日

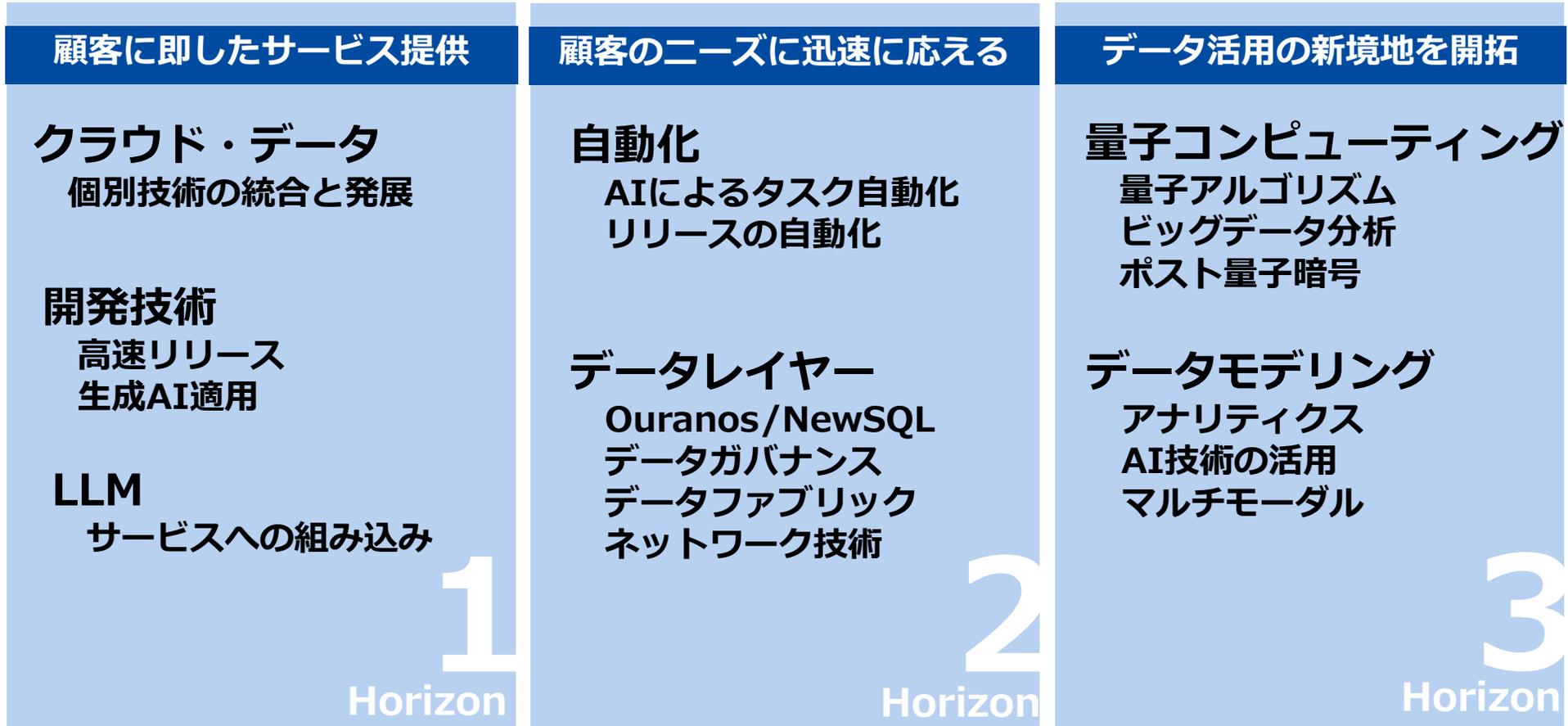
新社名「セゾンテクノロジー」

SAISON
TECHNOLOGY



セゾン テクノロジー 笑顔 つなぐ

●当社が取り組むべき技術領域を明確にして、技術シフトを図る



※ スリーホライズン：企業の持続的かつ破壊的なイノベーションを目的とした3つのプロセスのこと。
マッキンゼー・アンド・カンパニーが提唱したフレームワーク。

●お互いを尊重し合い働きがいのある職場づくりを推進



1. Input (勉強会・セミナー)

日経ウーマンエンパワーメント
コンソーシアム

2. Output (発信)

日経ジェンダーギャップ会議等

日経ウーマン
エンパワーメントプロジェクト
での総合コミュニケーション

3. Action (企業活動訴求)

紙面を通じたメッセージ訴求

世存信息技术（上海）有限公司
・ 中国市場向け販売・マーケティング
・ 当社製品サービスの開発 等

London

San Mateo

Shanghai Tokyo

Saison Technology International, Inc.
・ 欧米市場向け販売・マーケティング
・ 当社製品サービスの開発
・ 先端テクノロジーの探索 等

Bangkok

Saison Technology Singapore Pte. Ltd.
・ ASEAN市場向け販売・マーケティング
・ 現地パートナーの販売活動支援 等

- セゾンテクノロジー
及び海外拠点**8**拠点
- HULFT
販売代理店**18**拠点
- HULFT
ユーザー所有国**46**ヶ国

●データ連携ビジネスの拡大等により、増収増益見込

連結（単位：百万円）	2025年3月期 （業績予想）	2024年3月期との比較		
		実績	増減額	増減率
売上高	25,500	23,864	+1,635	+6.9%
営業利益	2,200	1,024	+1,176	+114.8%
経常利益	2,200	1,072	+1,128	+105.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,500	603	+897	+148.7%

備考

- ・売上高は、特定顧客向けシステム開発・運用ビジネスが縮小するものの、データ連携ビジネス（HULFT事業・データプラットフォーム事業）の拡大等により、増収を予定しております。
- ・営業利益及び経常利益は、引き続き「HULFT Square」等製品サービスの開発及び人的資本に対して費用投下をするものの、2024年3月期の流通ITサービス事業における受注損失引当金の計上がなくなることから、増益を見込んでおります。

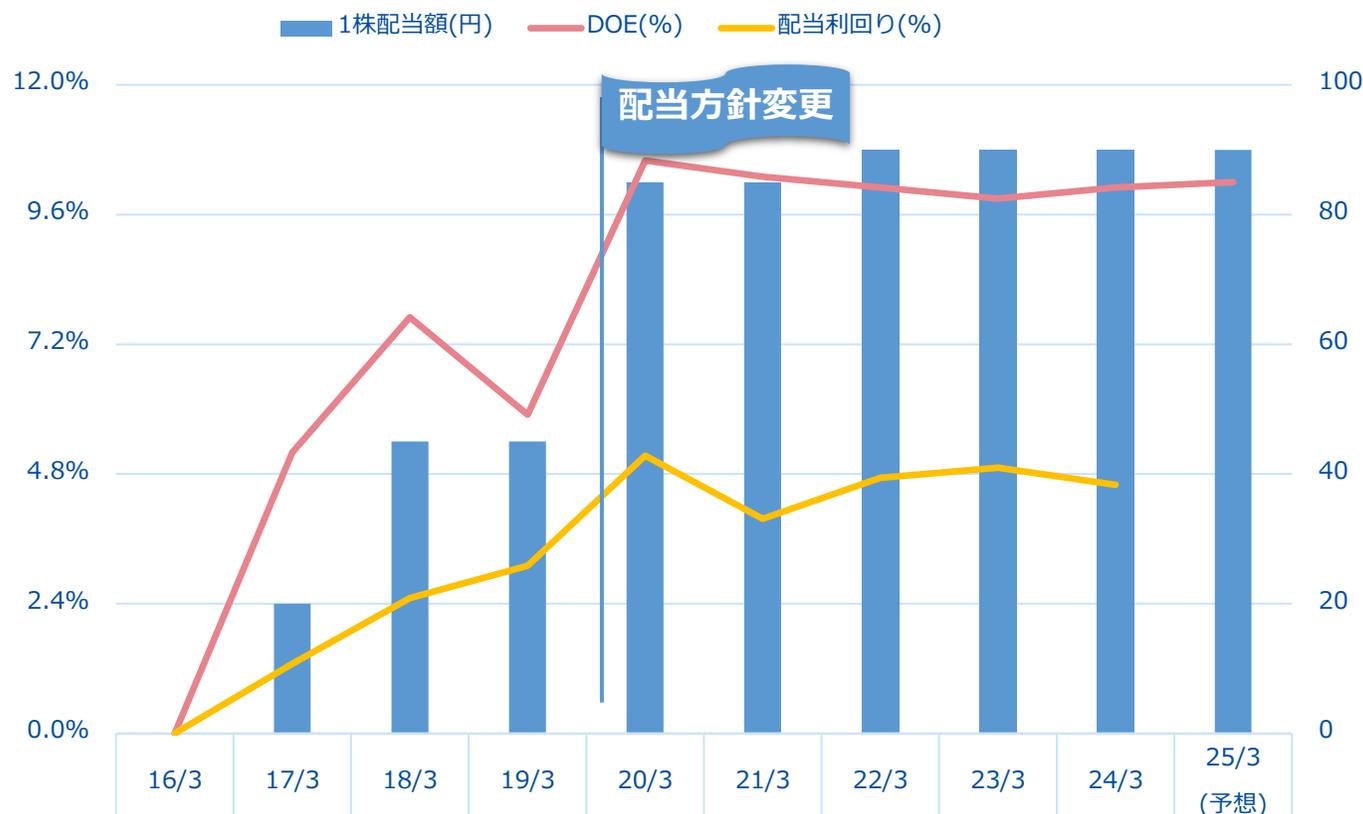
● 通期90円（中間45円、期末45円）

考え方

- 資本コストとTSR意識
- 長期的視野にたつ
- バランスシートマネジメント
- 高ROE企業に相応しい株主還元

配当方針

- DOE（自己資本配当率）
10%を目安とする
- 自己資本比率50%~75%を維持し、
最適資本構成を目指す
- 通期見通しの約1/2を中間配当額とする



1株配当額(円)	0	20	45	45	85	85	90	90	90	90
DOE(%)	0.0%	5.2%	7.7%	5.9%	10.6%	10.3%	10.1%	9.9%	10.1%	10.2%
配当利回り(%)	0.0%	1.3%	2.5%	3.1%	5.1%	4.0%	4.7%	4.9%	4.6%	

※配当利回り(%) = 1株配当額 ÷ 1株購入価額(3月末) × 100
 (参考) スタンダード市場の単純平均利回り：2.04%~2.27%（2023年4月~2024年3月）